

平成二十一年度入学式式辞

校舎の周りの木々たちは柔らかな光の中で輝きを見せ、庭に遊ぶ鳥たちも春の訪れを楽しそうに告げています。

まさに、春爛漫となった本日、平成二十一年度入学式を挙げるにあたり、岡山PTA会長様、中学の校長先生をはじめとする御来賓の皆様の御臨席を賜り、新入生を祝福していただきますことは、本校教職員一同、感謝の念に堪えません。

高壇からではございますが、心から厚くお礼申し上げます。

只今、入学を許可いたしました一九一名の皆さん、御入学おめでとうでございます。

皆さんの入学を、本校教職員一同、心から祝福し、歓迎いたします。

本校は、昭和十四年に創設され、七十年の歴史と伝統のある工業高校です。

この間、ものづくりに携わる人材育成に取り組み、地域の皆様から多くの御支援や御協力をいただきながら、地元のみならず全国の産業界を担う有為な人材を多数育成してまいりました。校訓には「真理を究め、責任を重んじ、自治を愛し、勤労を尊び、剛健の気を養う」という言葉があり、本校教育の理念となっています。皆さんには、まず、この言葉を胸に高校生活を送っていただきたいと思えます。

さて、皆さんは、「少年老いやすく学成りがたし」という言葉をご存じだと思います。

今、中学時代を振り返ると、多くの皆さんが三年間を短く感じられたのではないのでしょうか。高校生活も三年間という短い時間です。

私は高校は「一人の人間として自立するための準備をする場」だと思っています。「自立する」とは、わかりやすく言えば、「精神的に、また、経済的に一人立ちする」ことです。

では、そのために、私たちは何をすればよいのでしょうか。

それは、「自分のなすべきことに真剣に取り組み、自分に向けられた言葉に耳を傾け、周りの人の生き方を見ながら、そして自分の生き方を見つけ、行動すること」だと思っています。

具体的には、

- 1 勉強に全力を尽くし、知識や技術を身につける。
- 2 部活動で自分を鍛え、友達をつくる。
- 3 本や新聞を読んだりニュースを見たりして、社会への見識を広げる。

この三つを忘れず、三年間を過ごしてください。

本校は専門教育を充実したものとするため施設設備が非常によく整備されており、先進的なキャリア教育への取り組みも行っています。また、部活動も盛んで、先輩たちの築いた輝かしい歴史と伝統があります。そして、皆さんの教育には本校の全教職員が力を合わせて当たる所存ですので、どうぞ、よろしくお願ひします。

さて、保護者の皆様には、本日はお子様の御入学、おめでとうでございます。今日までさまざまな御心配や御苦勞もあったかと思ひます。

私ども教職員は、一人一人のお子様が発達した高校生活を過ごされ、確かな知識や技術を身につけるとともに、豊かな人間性を持った心身ともにたくましい若者に成長されるよう願っております。そのことを実現させるために、学校を挙げて努力してまいりますが、一方で、保護者の皆様の御理解と御協力が欠かせません。子どもたちの将来が豊かで幸せなものとするためには、御家庭と学校の双方がその役割をきちんと認識しながら、互いの考えを理解し、連携して歩んでいきたいと思ひますので、御協力を重ねてお願いいたします。

終わりに、すべての新入生の皆さんの高校生活が実り多いものになることを祈り、私の式辞いたします。

平成二十一年四月七日

鳥取県立鳥取工業高等学校
校長 山内有明